

2011年3月期 第3四半期 決算説明会資料

※本資料に含まれる数値は各事業の業績を分かりやすく説明するために使用しており、
財務諸表の数値と異なる場合があります。
※詳しくは各スライドの脚注をご覧ください。



当資料取扱上の注意点

将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提(仮定)を使用しています。これらの記述ないし事実または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます(なおかかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません)。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更(増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等)、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動

2011年3月期 第3四半期実績



全社業績 : Executive Summary

- 調整後税抜売上高およびEBITDAはほぼ横ばい
- 営業利益、経常利益、四半期純利益は増益
- 国内たばこ事業は増税に伴う数量減少影響を受け減収減益
- 海外たばこ事業はドルベース調整後税抜売上高、EBITDAはそれぞれ8.0%、12.4%成長、単価上昇効果および為替のプラス影響が、総需要減少による総販売数量減を相殺、引き続き主要市場におけるシェアも伸長

全社業績：2011年3月期 第3四半期実績

(単位:億円)	2009 4-12月期	2010 4-12月期	増減		2009 4-12月期	2010 4-12月期	増減
調整後税売上高 ¹⁾	14,961	14,876	-0.6%				
EBITDA	4,257	4,245	-0.3%				
営業利益	2,525	2,645	+4.8%	<参考:のれん償却前>	3,269	3,340	+2.1%
経常利益	2,156	2,484	+15.2%		2,900	3,178	+9.6%
四半期純利益	1,069	1,195	+11.8%		1,813	1,889	+4.2%

- 国内たばこ事業における増税に伴う販売数量減少による減収を、海外たばこ事業における単価上昇効果等が相殺し、調整後税売上高、EBITDAともにほぼ横ばい
- 営業利益・経常利益・四半期純利益は増益

1)国内たばこ事業における輸入たばこ、国内免税、中国事業等及び海外たばこ事業における物流事業、葉たばこ販売、製造受託等を控除
2)のれん償却影響除き

5

ひとの
ときを、
想う。 JT

国内たばこ事業：2011年3月期 第3四半期実績

(単位:億本, 億円)	2009 4-12月期	2010 4-12月期	増減
販売数量	1,174	1,068	-9.0%
調整後税売上高 ¹⁾	4,764	4,641	-2.6%
EBITDA ²⁾	1,991	1,851	-7.0%
営業利益	1,593	1,514	-4.9%

- 増税に伴う数量減少により販売数量は9.0%減少
- 単価上昇効果が数量減影響を一部相殺するも、調整後税売上高、EBITDA、営業利益ともに減少

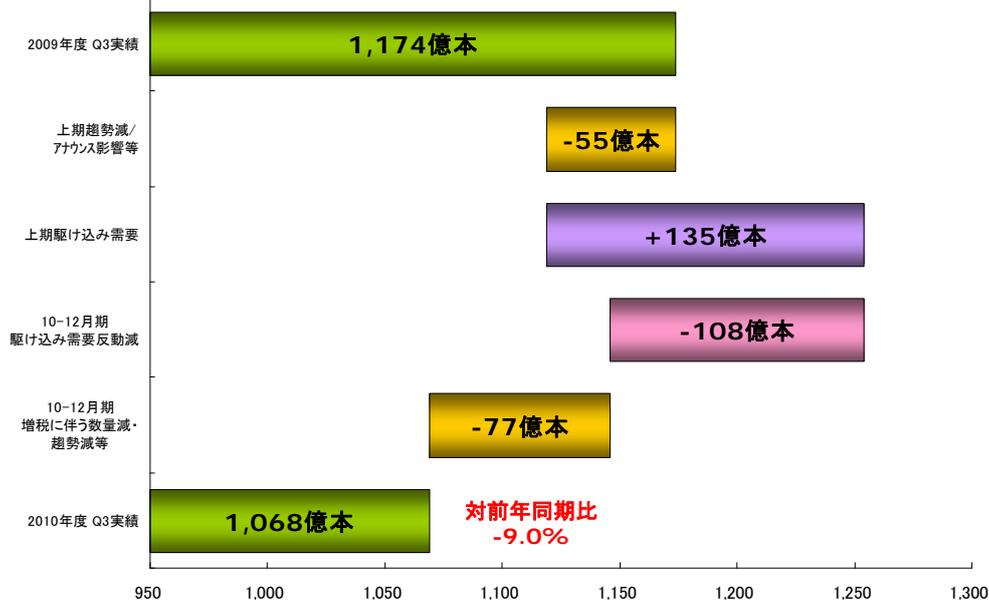
1)輸入たばこ、国内免税、中国事業等を控除
2)JT1からのロイヤリティー受取前、会計基準の変更に伴う一部共通経費の配賦中止後

6

ひとの
ときを、
想う。 JT

国内たばこ事業：2011年3月期 第3四半期実績

【第3四半期数量増減内訳】

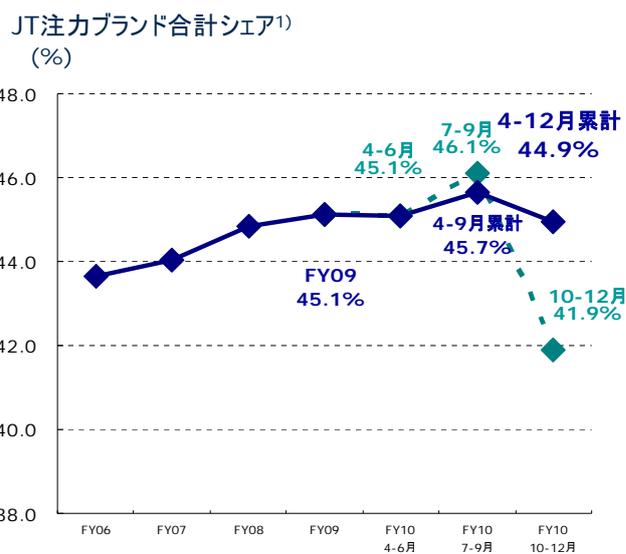
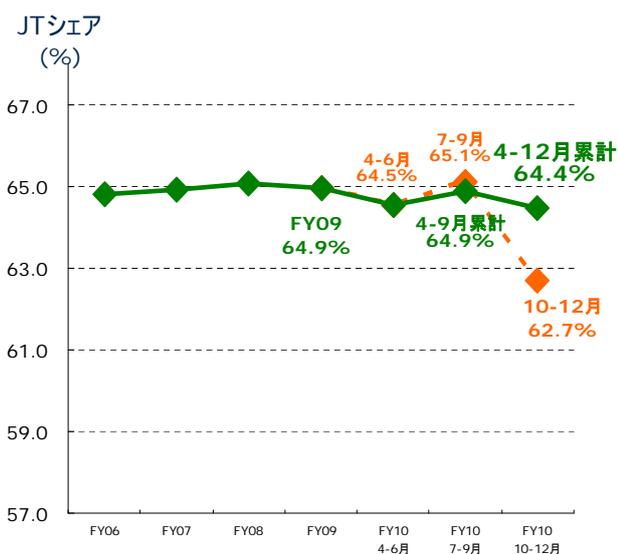


➤ 上期は駆け込み需要により販売数量が増加したが、10月増税後は定価改定影響と駆け込み需要反動減により減少

7



国内たばこ事業：2011年3月期 第3四半期実績



- 4-12月期のJTシェア、注カブランドシェアは微減
- 10-12月期のシェアは、主に駆け込み需要反動減影響によるものであり、実勢を反映していない
- 今後も市場動向を注視しつつ、各種施策によるブランド力強化に努め、競争力の維持を図る

1) マイルドセブン、セブンスター、ピアニッシモ(10年1月にピアニッシモに統合したアイシーン、ルーシア込みで濫及)

8

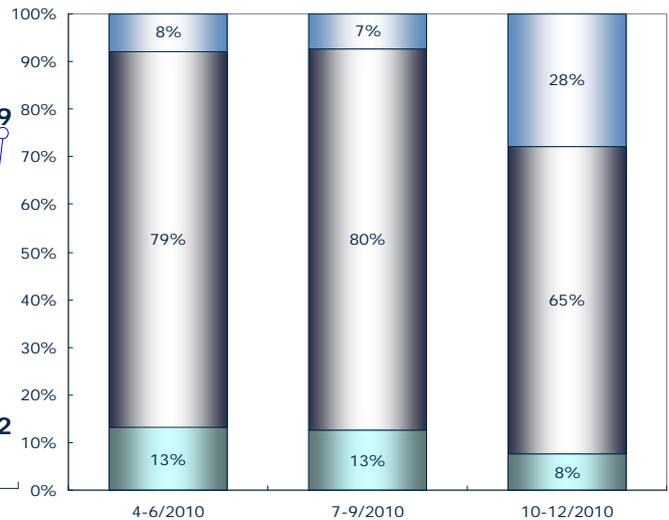
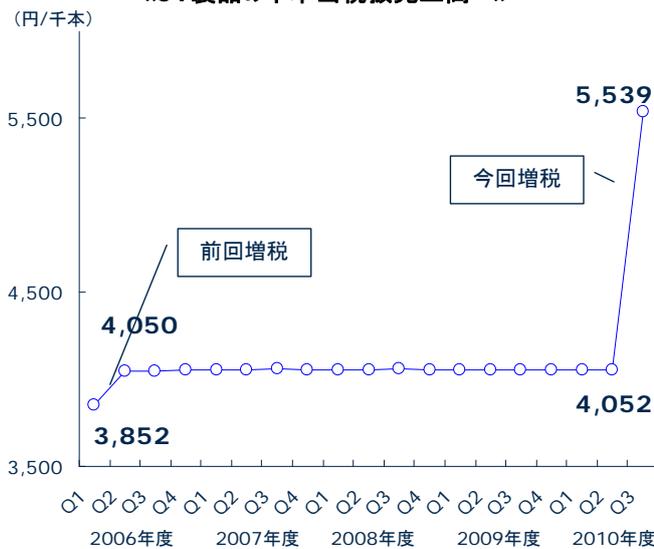


国内たばこ事業：2011年3月期 第3四半期実績

【単価の向上、価格帯別構成比の変化】

《JT価格帯別商品構成比》

《JT製品の千本当税抜売上高¹⁾》



□ 440円以上 (2010年9月までは320円以上)
 □ 410円 (2010年9月までは300円)
 □ 400円以下 (2010年9月までは290円以下)

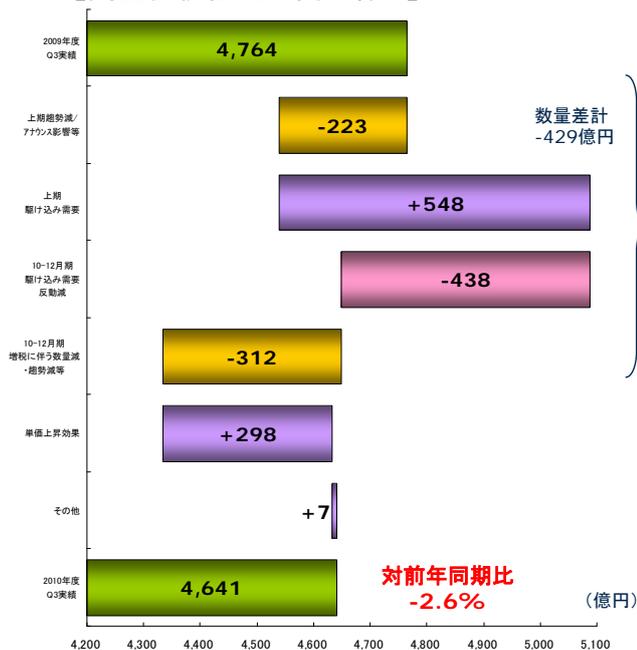
- 定価改定により千本当税抜売上高は計画通り上昇
- プレミアム価格帯商品の充実により、価格帯別商品構成が大きく改善

1) 千本等税抜売上高 = { 販売定価代金 - 販売店マージン - 消費税 - たばこ税 (国税) - たばこ税 (地方税) - たばこ特別税 (国税) } ÷ 販売数量 × 1,000

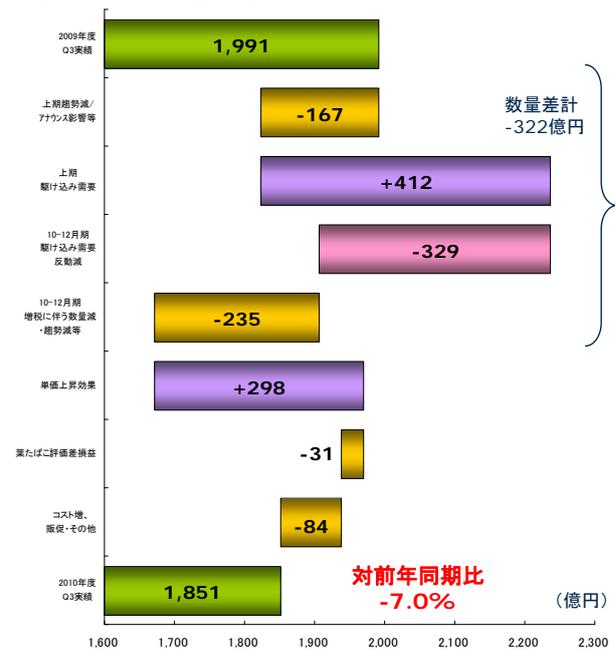


国内たばこ事業：2011年3月期 第3四半期実績

【調整後税抜売上高¹⁾増減】



【EBITDA²⁾増減】



- 単価上昇効果はあるものの、増税に伴う数量減少により減収減益

1) 輸入たばこ、国内免税、中国事業等を控除
 2) JTIからのロイヤリティ受取前、会計基準の変更に伴う一部共通経費の配賦中止後



海外たばこ事業：2011年3月期 第3四半期実績

(単位:億本、百万US\$)	2009 1-9月期	2010 1-9月期	増減
総販売数量 ¹⁾	3,256	3,195	-1.9%
GFB販売数量	1,824	1,851	+1.5%
調整後税抜売上高 ²⁾	7,028	7,591	+8.0%
調整後千本当税抜売上高 ³⁾ (US\$)	21.8	24.0	+10.1%
\$ベースEBITDA ⁴⁾	2,354	2,646	+12.4%
円ベースEBITDA ⁴⁾ (億円)	2,235	2,367	+5.9%
【為替中立ベース】			
調整後税抜売上高 ²⁾	7,028	7,423	+5.6%
調整後千本当税抜売上高 ³⁾ (US\$)	21.8	23.4	+7.6%
\$ベースEBITDA ⁴⁾	2,354	2,538	+7.8%

- 単価上昇効果および為替のプラス影響が、総需要減少による総販売数量減を相殺し増収増益
- 調整後税抜売上高は8.0%増収、EBITDAは12.4%増益
- 為替中立ベースの調整後税抜売上高は5.6%の増収、ドルベースEBITDAは7.8%増益
- 円高影響を受けたものの、円ベースEBITDAも5.9%増益

1) Private Brand、製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み

2) 物流事業、葉たばこ販売、製造受託等を控除

3) Private Brand、製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込みの総販売数量から、売上高に計上していないJV販売数量を控除

4) JTへのロイヤリティ支払い前

医薬事業：2011年3月期 第3四半期実績

(単位:億円)	2009 4-12月期	2010 4-12月期	増減
売上高	343	359	+16
EBITDA	-62	-64	-1
営業利益	-91	-94	-2

臨床開発品目(2011年2月7日現在)

開発名	主な適応症	開発段階
JTT-705(経口)	脂質異常症	国内:Phase2
JTT-130(経口)	脂質異常症	国内:Phase2 海外:Phase2
JTK-303(経口)	HIV感染症	国内:Phase1
JTT-302(経口)	脂質異常症	海外:Phase2
JTT-305(経口)	骨粗鬆症	国内:Phase2
JTS-653(経口)	鎮痛、過活動膀胱	国内:Phase2
JTK-656(経口)	HIV感染症	海外:Phase1
JTT-751(経口)	高リン血症	国内:Phase2
JTK-853(経口)	C型肝炎	海外:Phase1
JTT-851(経口)	2型糖尿病	国内:Phase1

- 鳥居薬品の好調および既導出品にかかる一時金収入により増収
- コスト増影響等によりEBITDAはほぼ横ばい

食品事業：2011年3月期 第3四半期実績

(単位:億円)	2009 4-12月期	2010 4-12月期	増減
売上高	3,032	2,936	-95
飲料事業	1,427	1,493	+65
加工食品事業等	1,605	1,443	-161
EBITDA	140	142	+1
営業利益	-73	-55	+18



- 飲料事業は夏場の猛暑による好影響及び「ルーツ」を中心とした販売が好調に推移していることにより増収
- 加工食品事業は精白米等の卸売事業の廃止および一部子会社を連結対象外とした影響に加え、業務用商品の売上が減少したことにより減収
- 加工食品事業における業務用商品の減収影響があるものの、飲料事業が堅調に推移したことにより増益

2011年3月期 業績予想

業績予想 : Executive Summary

- 全社業績予想については、売上高・利益ともに上方修正
- 国内たばこ事業は販売数量の上方修正により売上高・EBITDAともに上方修正
- 海外たばこ事業のドルベースEBITDAは10.6%成長に上方修正、為替中立ベースでは7.7%成長

2011年3月期 業績予想

	2009年度 実績 a	前回見込 b	2010年度 修正見込 c	対前回見込 増減 c-b	対実績 増減率 (c-a)/a
(単位:億円)					
調整後税抜売上高 ¹⁾	19,809	19,050	19,580	+530	-1.2%
EBITDA	5,267	4,950	5,230	+280	-0.7%
営業利益	2,965	2,810	3,080	+270	+3.9%
経常利益	2,553	2,610	2,910	+300	+13.9%
当期純利益	1,384	1,150	1,360	+210	-1.8%
ROE(%)	8.6	6.9	8.1	+1.2ppt	-0.5ppt
FCF	2,507	1,250	2,250	+1,000	-10.3%
【のれん償却影響前】					
当期純利益 ²⁾	2,358	2,050	2,270	+220	-3.8%
EPS ²⁾	24,621円42銭	21,408円96銭	23,694円95銭	+2,285円99銭	-3.8%
1株当たり配当金(円)	5,800	5,600	5,600	-	-200
配当性向(%) ²⁾	23.6%	26.2%	23.6%	-2.6ppt	-

- 全社売上高・EBITDAともに上方修正
- 国内たばこ事業は数量見込の修正により上方修正
- 海外たばこ事業のEBITDAを上方修正

1) 国内たばこ事業における輸入たばこ、国内免税、中国事業等 及び
海外たばこ事業における物流事業、葉たばこ販売、製造受託等を控除
2) のれん償却前

国内たばこ事業：2011年3月期 業績予想

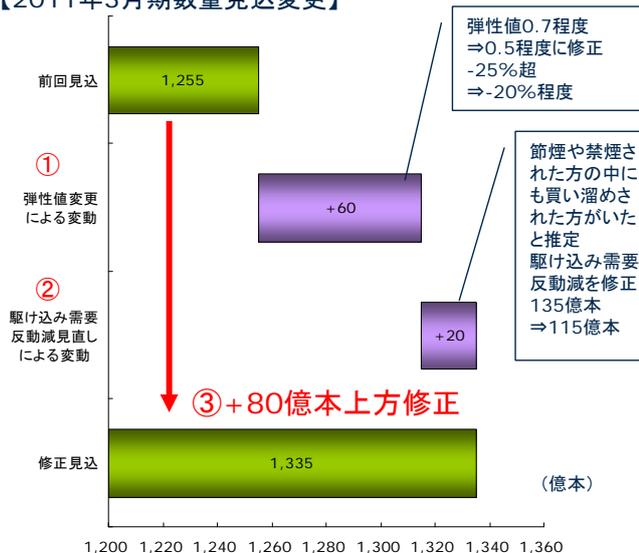
	2009年度	2010年度		対前回見込 増減 c-b	対実績 増減率 (c-a)/a
	実績 a	前回見込 b	修正見込 c		
(単位:億本、億円)					
販売数量	1,518	1,255	1,335	+80	-12.1%
調整後税抜売上高 ¹⁾	6,159	5,680	6,110	+430	-0.8%
EBITDA ²⁾	2,512	2,190	2,450	+260	-2.5%
営業利益	1,987	1,720	1,990	+270	+0.1%

- 増税に伴う需要減少影響および駆け込み需要反動減影響を見直し、販売数量見込を80億本上方修正
- 販売数量見込修正にともない、売上高、EBITDAを上方修正

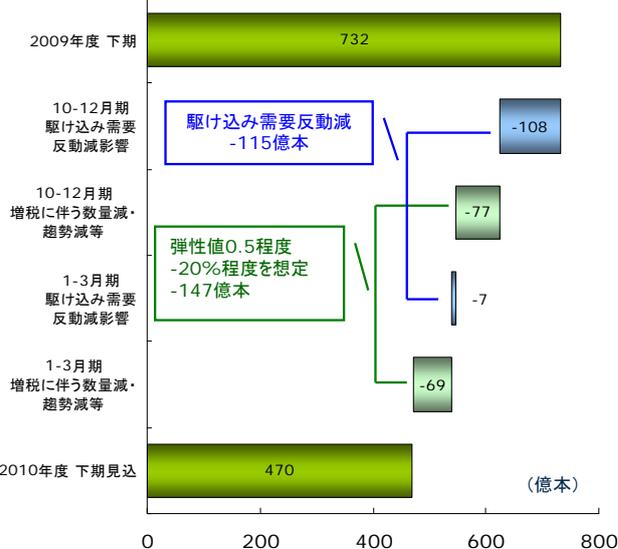
1) 輸入たばこ、国内免税、中国事業等を控除
2) JT1からのロイヤリティ受取前、
会計基準の変更に伴う一部共通経費の配賦中止後

国内たばこ事業：2011年3月期 業績予想

【2011年3月期数量見込変更】



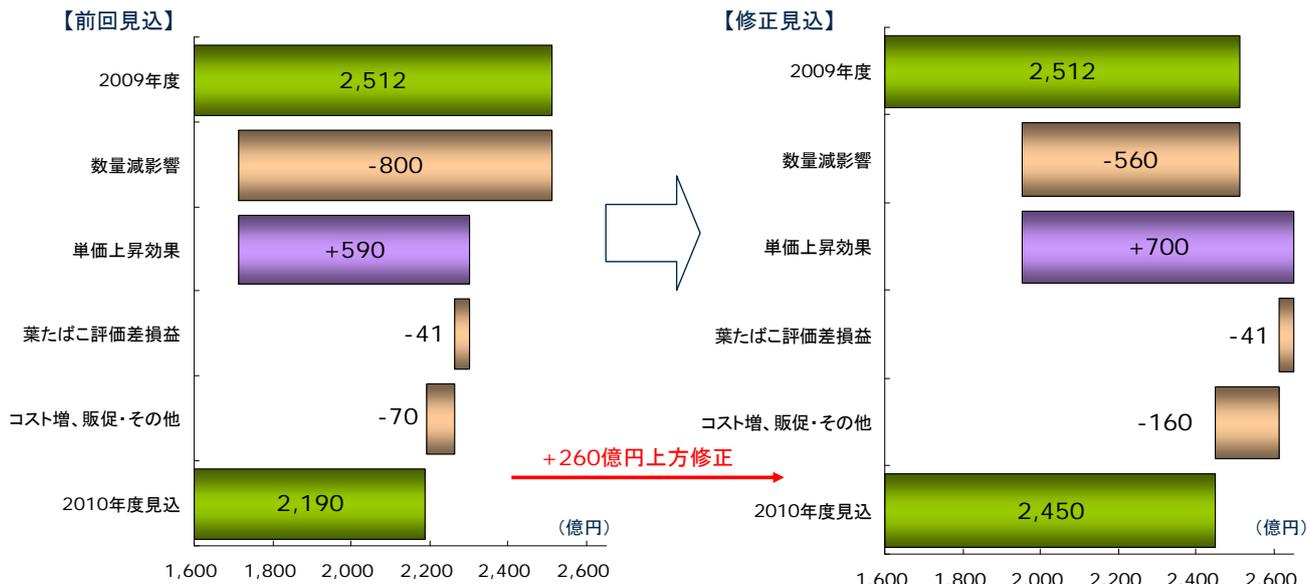
【下期対前年同期数量増減】



- ①増税に伴う需要減少について、価格弾性値の前提を0.7程度から0.5程度に修正 +60億本程度
- ②駆け込み需要反動減影響を-135億本から-115億本へ見直し +20億本程度
- ③上記の要因から販売数量見込を+80億本上方修正
- 駆け込み需要反動減影響はQ3時点では収束していないとみており、今後も販売動向を注視していく所存

国内たばこ事業：2011年3月期 業績予想

【EBITDA見込変更】



- 販売数量見込の80億本上方修正により、数量減影響、単価上昇効果を見直し
- コスト増および販促費・その他の増を約90億円見込む
- EBITDA見込を260億円上方修正

国内たばこ事業：2011年3月期 業績予想



- 商品イノベーション(R&D)/ブランドエクステンション/商品改善プログラム(パッケージ形態・デザイン変更)の拡充・強化
- より見えやすい買いやすい売場の構築に向けた対面売場の強化
- 愛煙家の皆様や非喫煙者の方々に配慮した喫煙場所確保施策の強化
- 多様化するお客様のニーズに応える商品施策に対応する設備投資

海外たばこ事業：2011年3月期 実績速報

	2009年度	2010年度		対前回見込 増減 c-b	対実績 増減率 (c-a)/a
	実績 a	前回見込 b	実績速報 c		
(単位:億本、億円)					
総販売数量 ¹⁾	4,349	4,285	4,284	- 1	-1.5%
GFB販売数量	2,434	2,500	2,498	- 2	+2.7%
調整後税売上高 ²⁾	9,067	8,910	8,975	+65	-1.0%
EBITDA ³⁾	2,776	2,840	2,880	+40	+3.7%
(単位:百万US\$)					
調整後税売上高 ²⁾	9,682	10,240	10,223	- 17	+5.6%
為替中立ベース調整後税売上高 ²⁾	9,682	10,110	10,144	+ 34	+4.8%
EBITDA ³⁾	2,965	3,260	3,281	+21	+10.6%
為替中立ベースEBITDA ³⁾	2,965	3,150	3,192	+42	+7.7%

- ドルベースの調整後税売上高、EBITDAはそれぞれ5.6%、10.6%成長
- 為替中立ベースEBITDAは7.7%成長

1) Private Brand、製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み

2) 物流事業、葉たばこ販売、製造受託等を控除

3) JTへのロイヤリティ支払い前

21

ひとの
ときを、
想う。 JT

医薬事業：2011年3月期 業績予想

	2009年度	2010年度		対前回見込 増減 c-b	対実績 増減 c-a
	実績 a	前回見込 b	修正見込 c		
(単位:億本、億円)					
売上高	440	455	460	+5	+19
EBITDA	-96	-130	-150	- 20	- 53
営業利益	-135	-170	-190	- 20	- 54

- 既導出品にかかる一時金収入を織り込み売上高を若干上方修正
- 鳥居薬品におけるダニを抗原とするアレルギー疾患を対象とした減感作療法薬等に関するライセンス契約に伴う一時金の支払いにより、EBITDAは下方修正

22

ひとの
ときを、
想う。 JT

食品事業：2011年3月期 業績予想

	2009年度	2010年度		対前回見込 増減 c-b	対実績 増減 c-a
	実績 a	前回見込 b	修正見込 c		
(単位:億本、億円)					
売上高	3,946	3,830	3,850	+20	-96
EBITDA	144	150	160	+10	+15
営業利益	-136	-125	-110	+15	+26

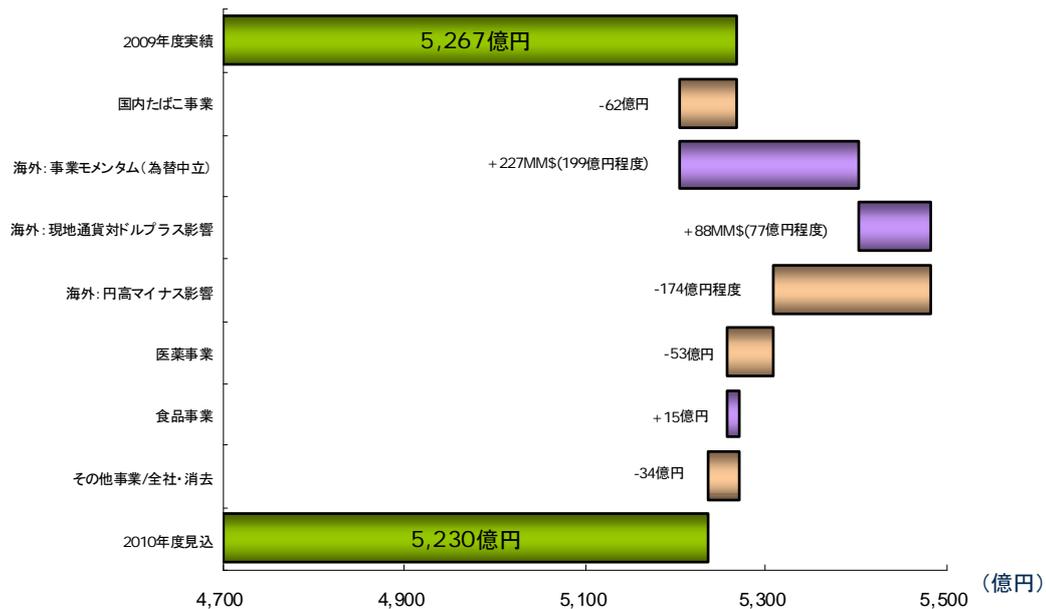


【テーブルマーク(株) 魚沼水の郷工場】

➤ 飲料事業のQ3までの実績を受けて、売上高・EBITDAともに上方修正

2011年3月期 業績予想

【全社EBITDA 2010年度見込対2009年度実績増減内訳】



- 国内たばこ事業は増税定価改定影響等により減益
- 海外たばこ事業の為替中立ベースのEBITDAは増益となっているものの、円高為替影響により一部相殺
- 全社EBITDAは、海外たばこ事業における円高為替影響により減益となるも、円高影響を除けば増益

終わりに

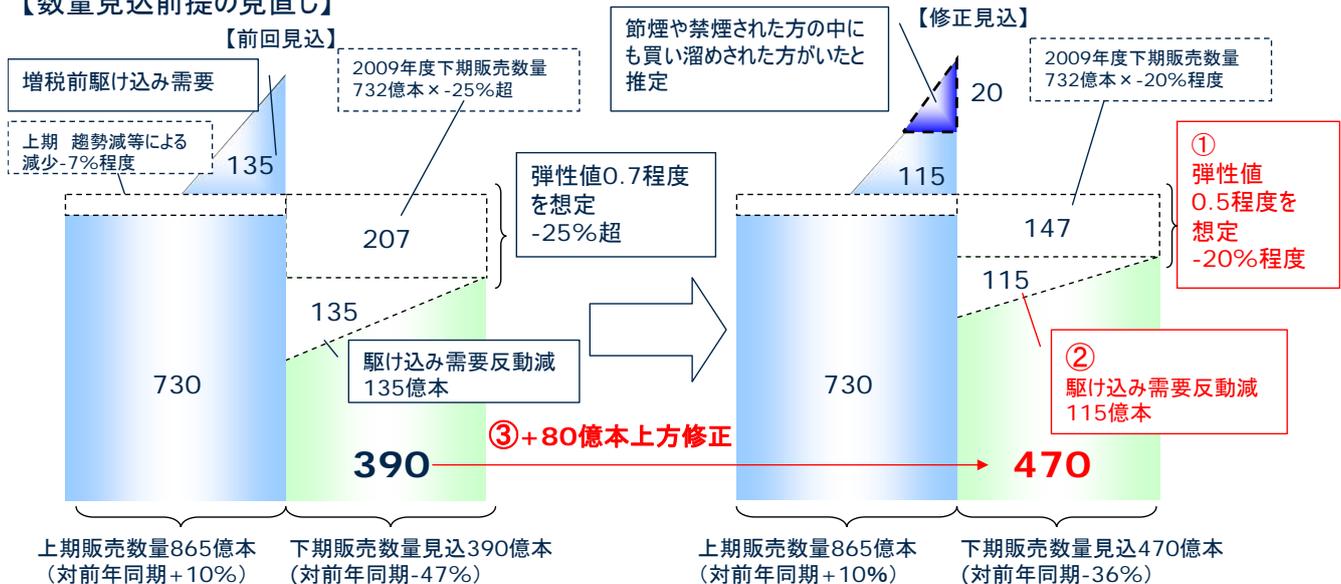
- 自己株式の取得
株主還元策の一環として6万5千株を上限(200億円を上限)とした
自己株式の取得を決定(取得期間: 2011年2月9日~2011年3月23日)

(このスライドは空白です)

All the Detailed figures comes to
<Back up data>

《Back up data No.1》国内たばこ事業 数量見込の前提

【数量見込前提の見直し】



①増税に伴う需要減少について、価格弾性値の前提を0.7程度から0.5程度に修正 +60億本程度

②駆け込み需要反動減影響を-135億本から-115億本へ見直し +20億本程度

③上記の要因から販売数量見込を+80億本上方修正

【参考資料】

2011年3月期 第3四半期実績 および 2011年3月期 業績予想 における増減要因の分析



当資料取扱上の注意点

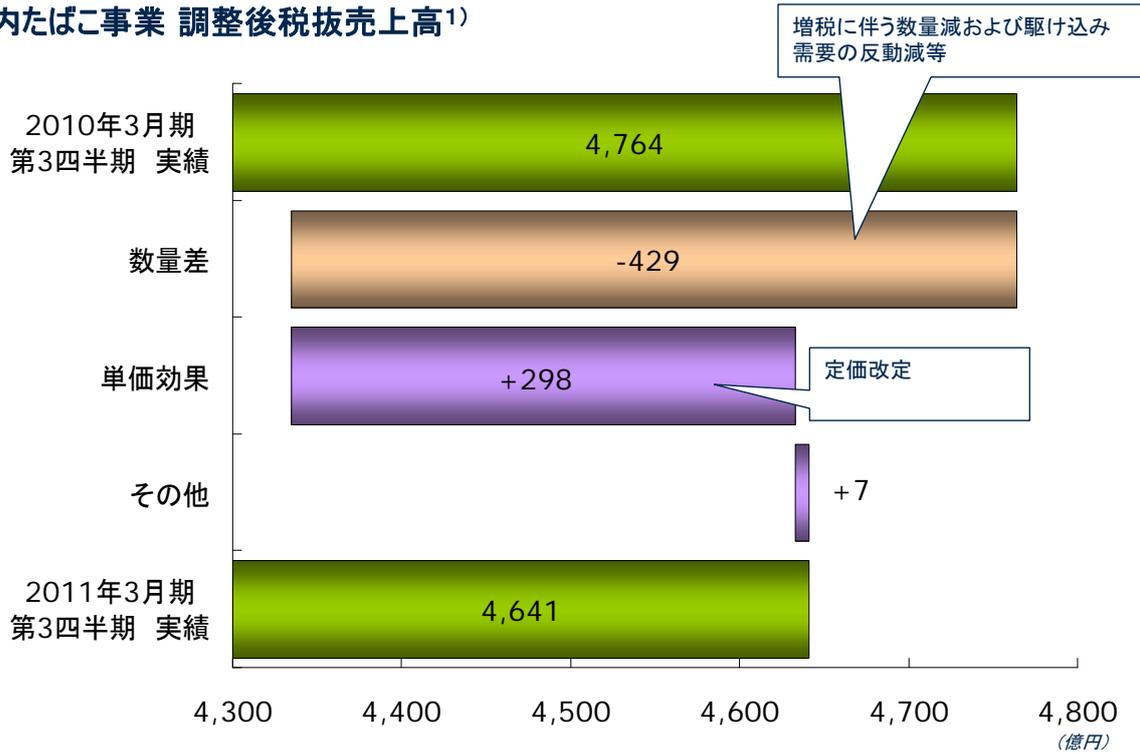
将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提（仮定）が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なおかかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動

2011年3月期 第3四半期実績

国内たばこ事業 調整後税売上高¹⁾



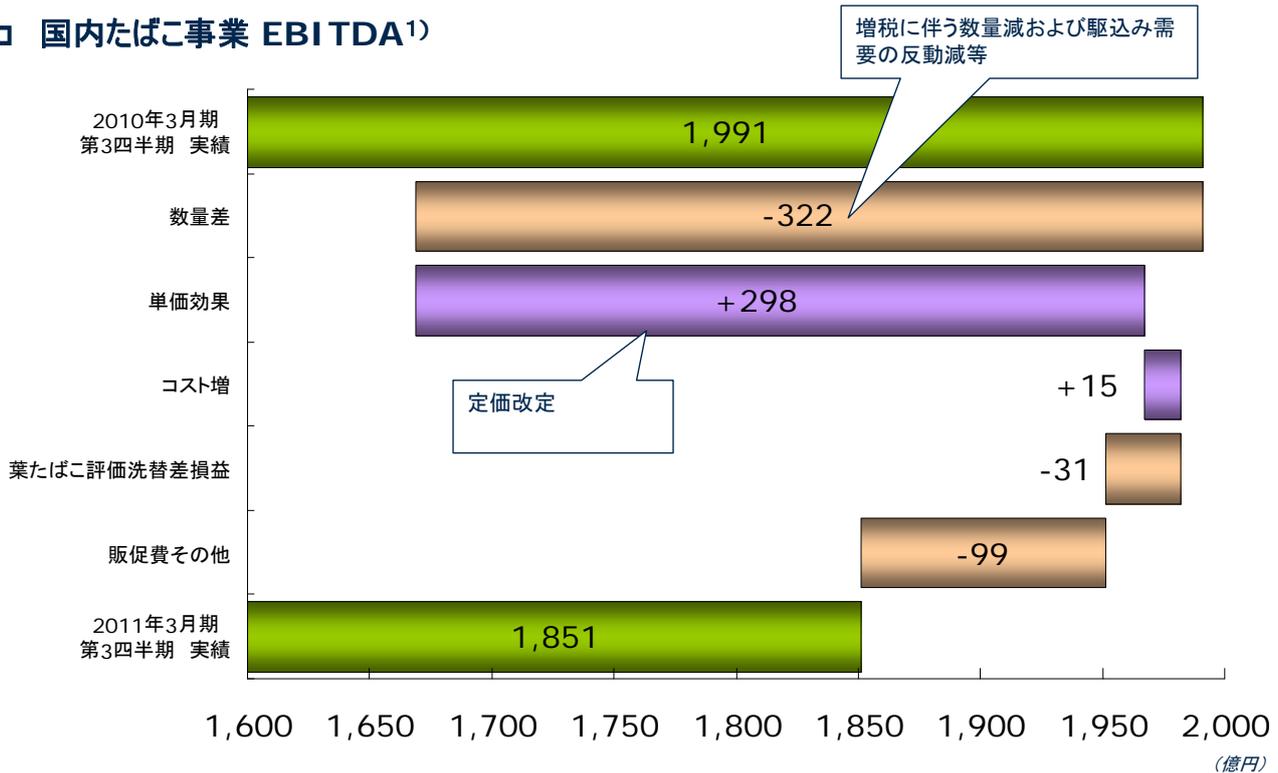
¹⁾輸入たばこ、国内免税、中国事業等を控除

3



2011年3月期 第3四半期実績

国内たばこ事業 EBITDA¹⁾



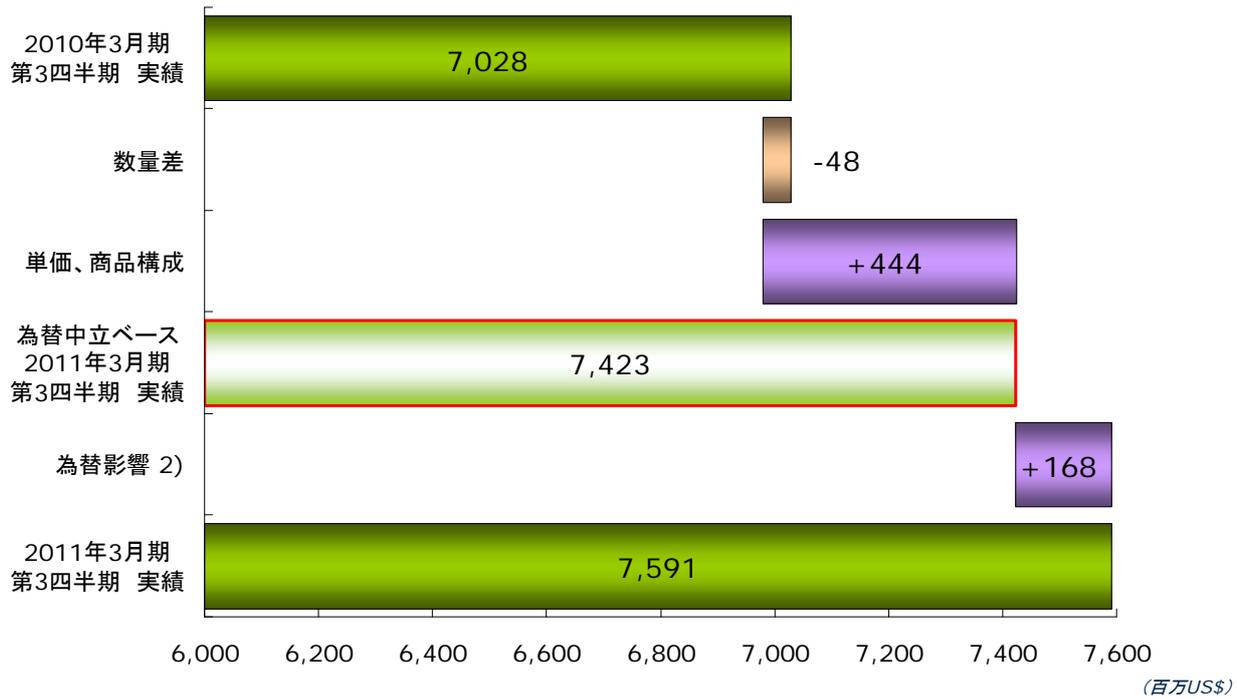
¹⁾JTIからのロイヤリティ受取前、会計基準の変更に伴う一部共通経費の配賦中止後

4



2011年3月期 第3四半期実績

□ 海外たばこ事業 調整後税抜売上高¹⁾



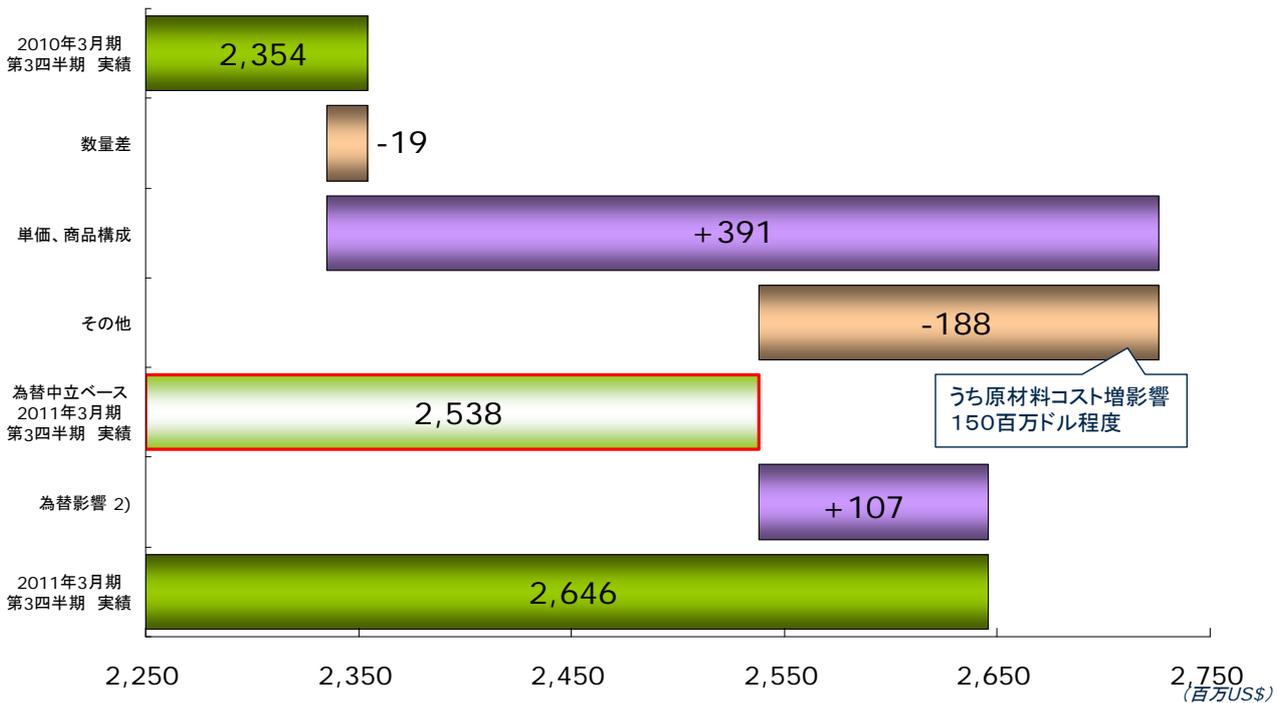
1) 物流事業、葉たばこ販売、製造受託等を控除
 2) USドルと各現地通貨との間の為替影響

5



2011年3月期 第3四半期実績

□ 海外たばこ事業 EBITDA¹⁾



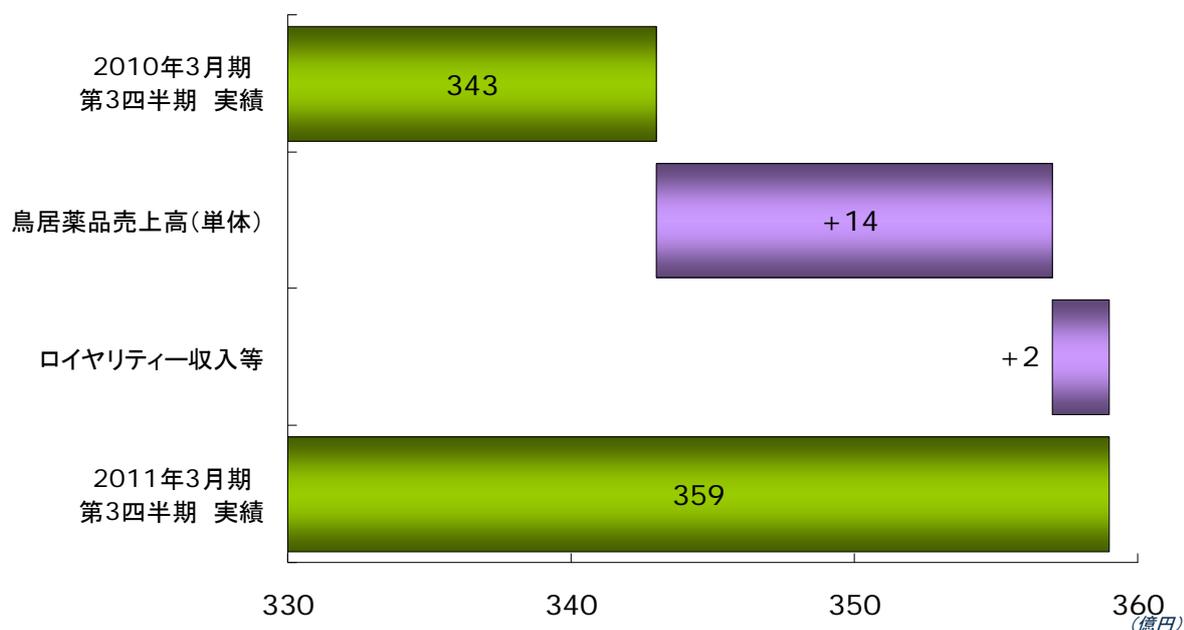
1) JTへのロイヤリティを支払前ドルベース
 2) USドルと各現地通貨との間の為替影響

6



2011年3月期 第3四半期実績

□ 医薬事業 売上高

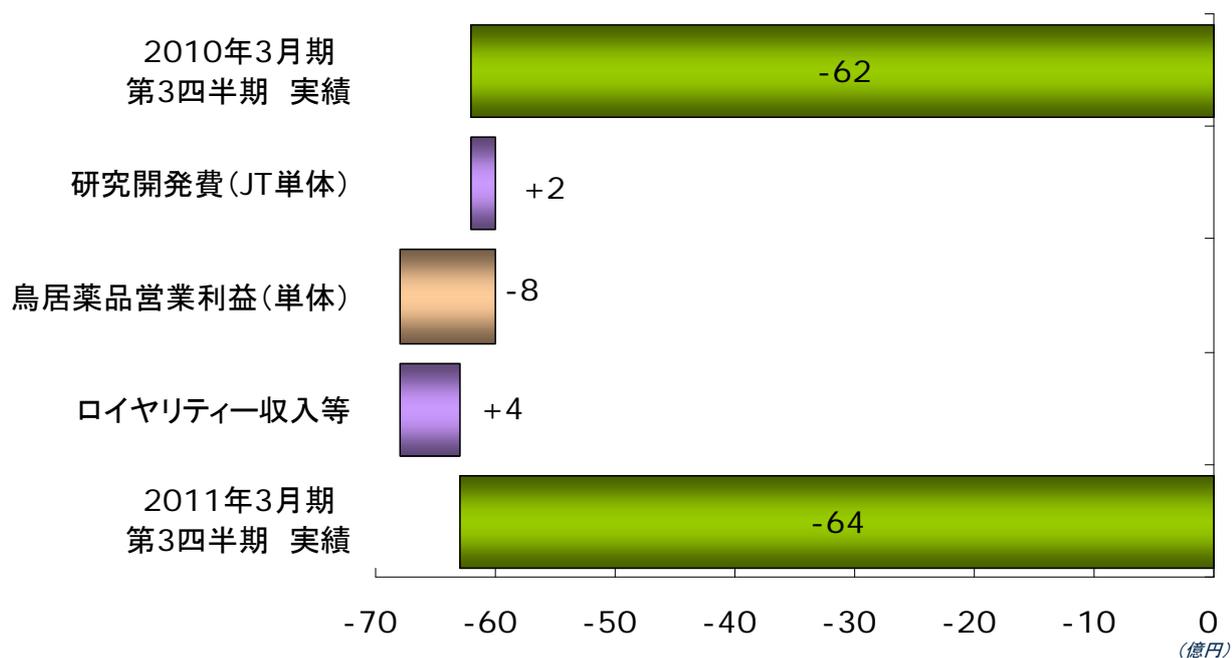


7



2011年3月期 第3四半期実績

□ 医薬事業 EBITDA

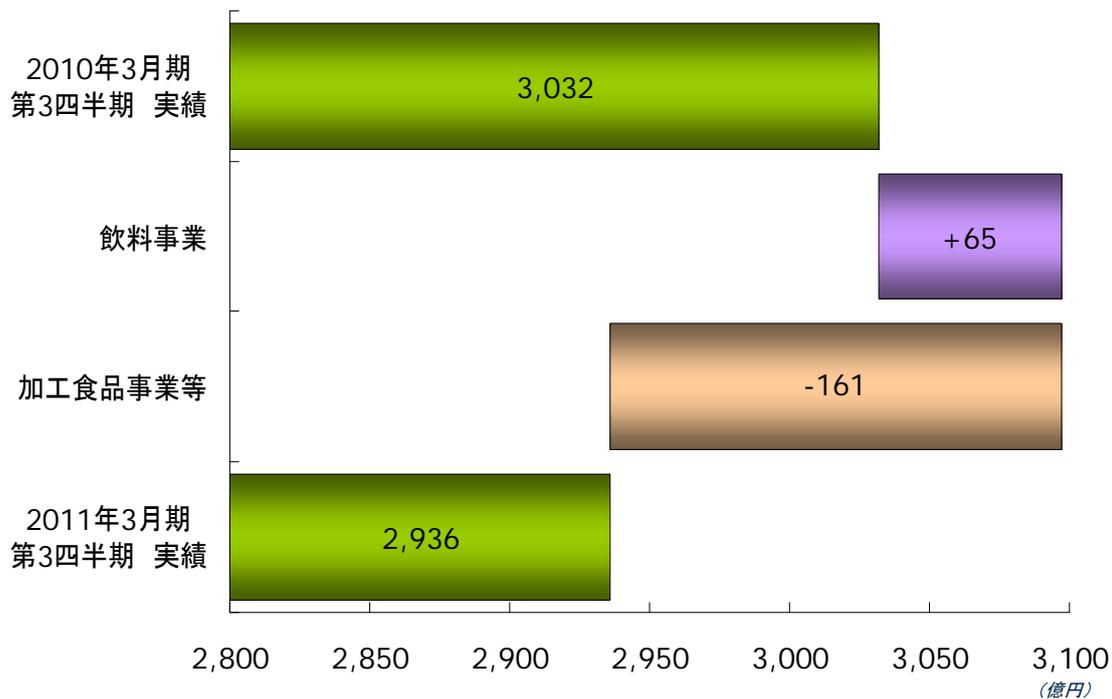


8



2011年3月期 第3四半期実績

□ 食品事業 売上高

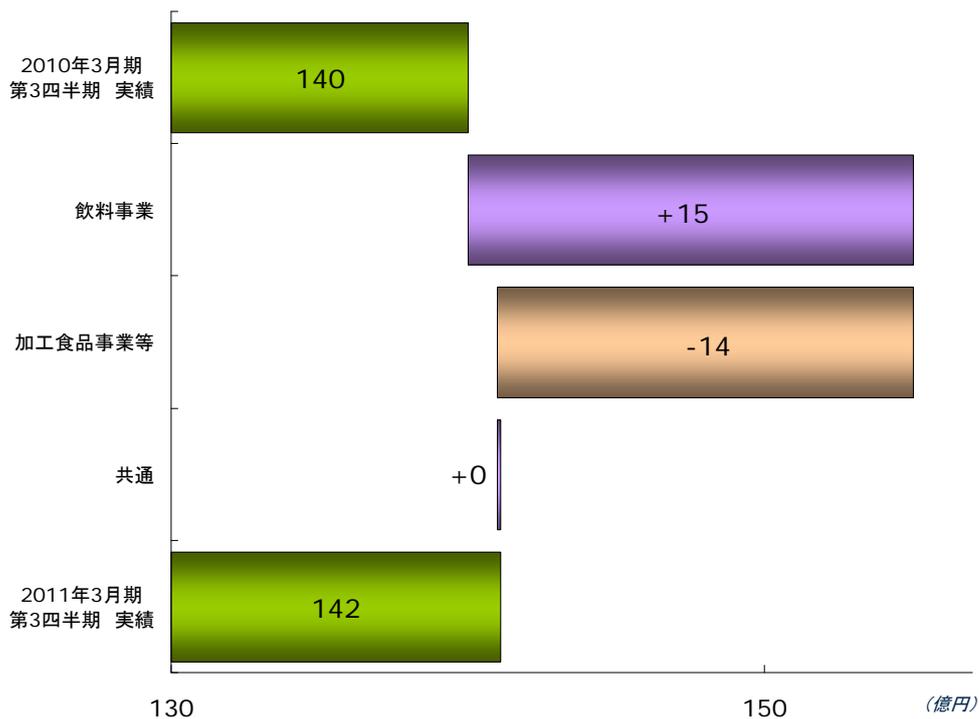


9



2011年3月期 第3四半期実績

□ 食品事業 EBITDA

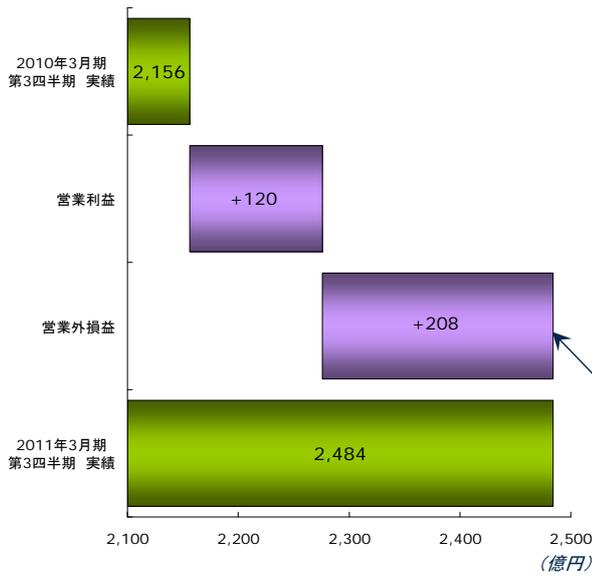


10



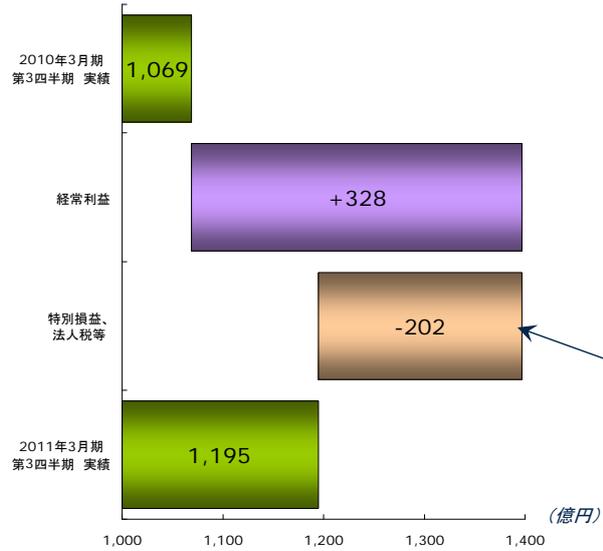
2011年3月期 第3四半期実績

□ 経常利益



改善要因: 為替差損益の改善: 175億円
支払利息の減: 75億円
悪化要因: 受取利息・配当金の減: 26億円 等

□ 当期純利益

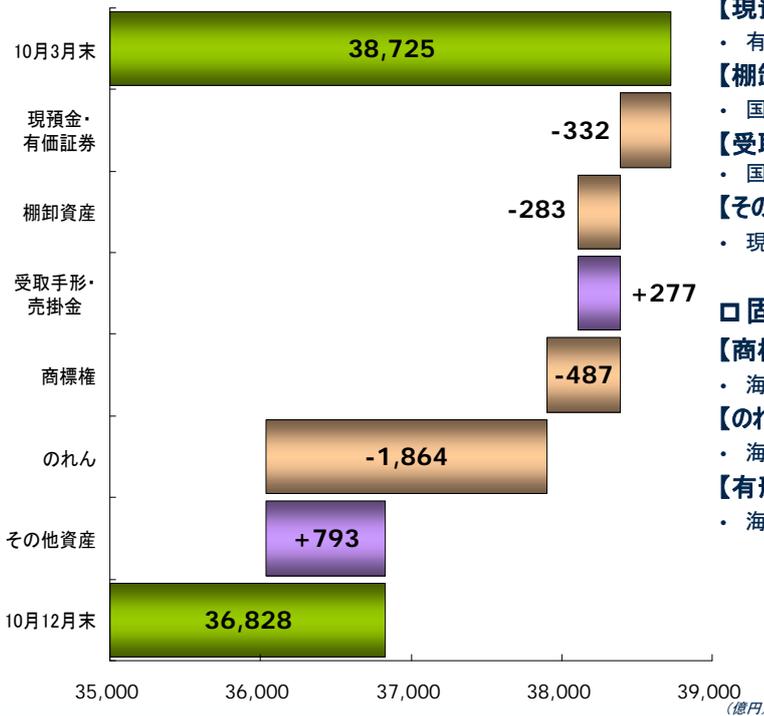


改善要因: 事業構造強化費用の減: 34億円
固定資産売却損の減: 29億円
法人税等の減: 58億円
悪化要因: カナダにおける行政法規違反過料: 130億円
固定資産売却益の減: 188億円 等

(このスライドは空白です)

2011年3月期第3四半期末 連結貸借対照表のポイント

□ 資産の部 2010年3月末・2010年12月末比較



□ 流動資産: +746億円

【現預金・有価証券減少】△332億円

・ 有利子負債の返済

【棚卸資産減少】△283億円

・ 国内たばこ事業での製品・半製品の減少

【受取手形・売掛金増加】+277億円

・ 国内たばこ事業での売上高増

【その他流動資産増加】+1085億円

・ 現先取引による増

□ 固定資産△2,644億円

【商標権の減少】△487億円

・ 海外たばこ事業での現地通貨安、円高および償却

【のれんの減少】△1,864億円

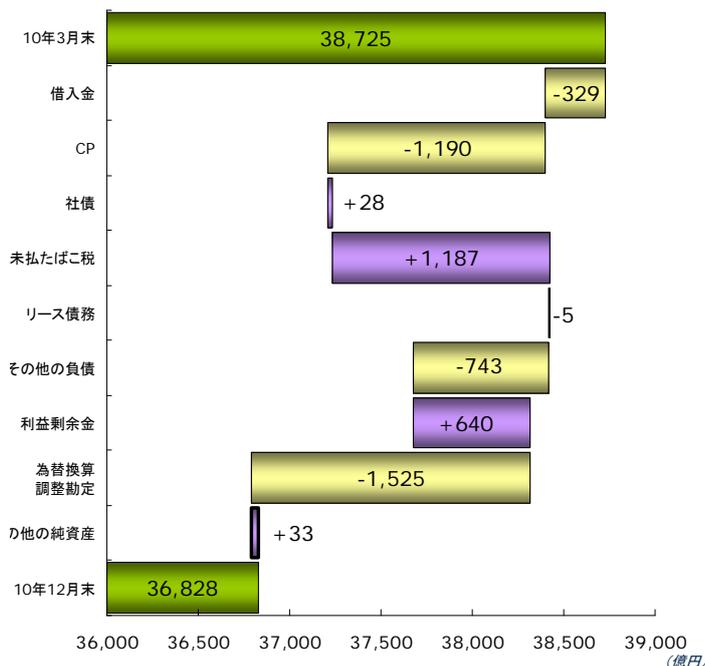
・ 海外たばこ事業でののれんの償却、円高

【有形固定資産の減少】△57億円

・ 海外たばこ事業における円高

2011年3月期第3四半期末 連結貸借対照表のポイント

□ 負債・純資産の部 2010年3月末・2010年12月末比較



□ 負債合計: △1,047億円

【借入金減少】△329億円

【CP減少】△1,190億円

【社債増】+28億円

【未払たばこ税増】+1,187億円

・ 国内たばこ事業の年末影響における増

□ 純資産合計: △850億円

【利益剰余金の増加】+640億円

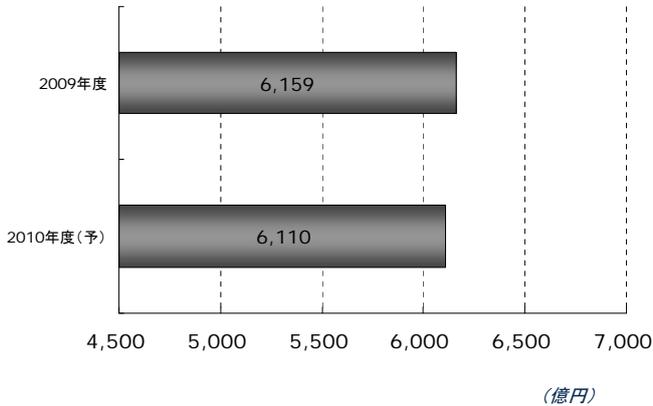
【為替換算調整勘定】△1,525億円

・ 期末の円ドルレートが円高(92.10→83.82)

2011年3月期 業績予想_対前年度実績

□ 国内たばこ事業 調整後税売上高¹⁾/EBITDA²⁾

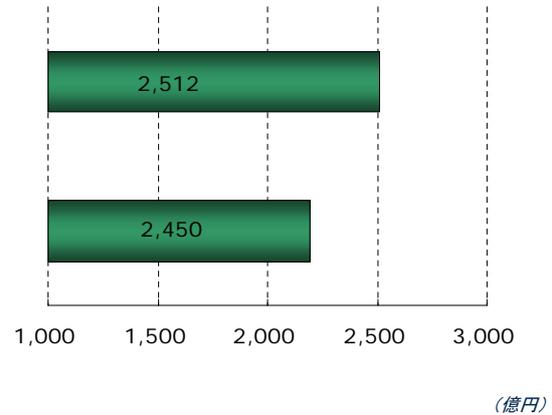
● 調整後税売上高¹⁾



【主な減少要因】

- JT販売数量の減:
1,518億本→1,335億本(△183億本)

● EBITDA²⁾



【主な減少要因】

- JT販売数量の減(△183億本): 約560億円
- 葉たばこ評価差損益戻入終了: 41億円
- コスト増、販促・その他: 約160億円

【主な増加要因】

- 単価効果: 約700億円

1) 輸入たばこ、国内免税、中国事業、その他を控除

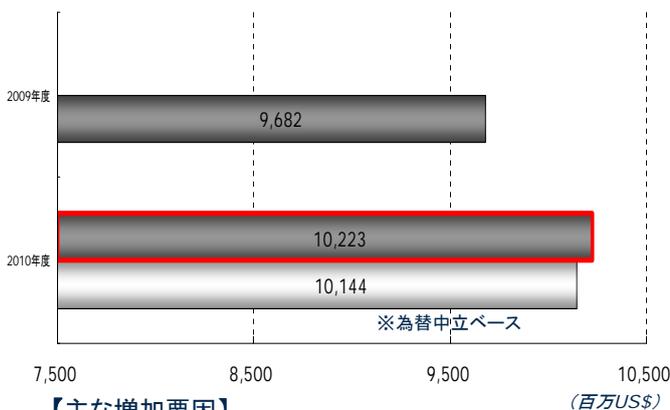
2) JT1からのロイヤリティ受取前、会計基準の変更に伴う一部共通経費の配賦中止後



2011年3月期 実績速報_対前年度実績

□ 海外たばこ事業 調整後税売上高¹⁾(\$ベース)/EBITDA²⁾(\$ベース)

● 調整後税売上高¹⁾



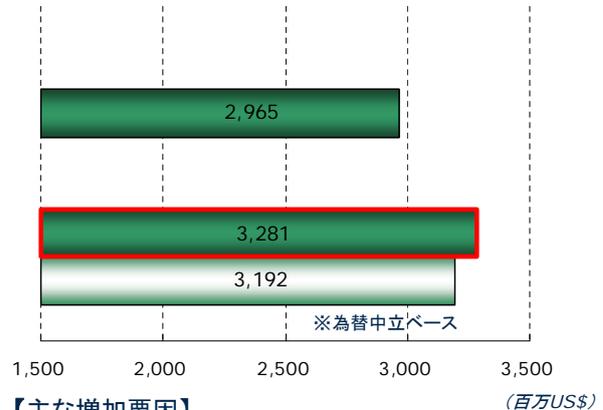
【主な増加要因】

- 単価上昇効果が数量減影響を相殺

(参考)

海外たばこ事業調整後税売上高¹⁾9,067億円→8,975億円
(92億円減)
連結円ドルレート 93.65円 → 87.79円 (5.86円高)

● EBITDA²⁾



【主な増加要因】

- 単価上昇効果が数量減影響を相殺

(参考)

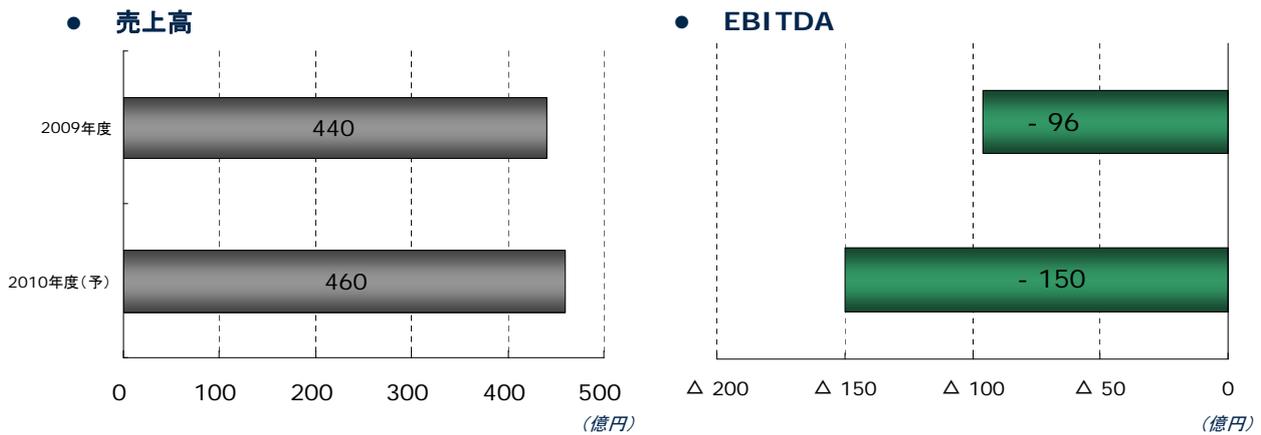
海外たばこ事業EBITDA²⁾2,776億円 → 2,880億円 (103億円増)
連結円ドルレート93.65円 → 87.79円 (5.86円高)

1) 物流事業、PB、製造受託、その他を控除
2) JTへのロイヤリティ支払前



2011年3月期 業績予想_対前年度実績

□ 医薬事業 売上高/EBITDA



【主な増加要因】

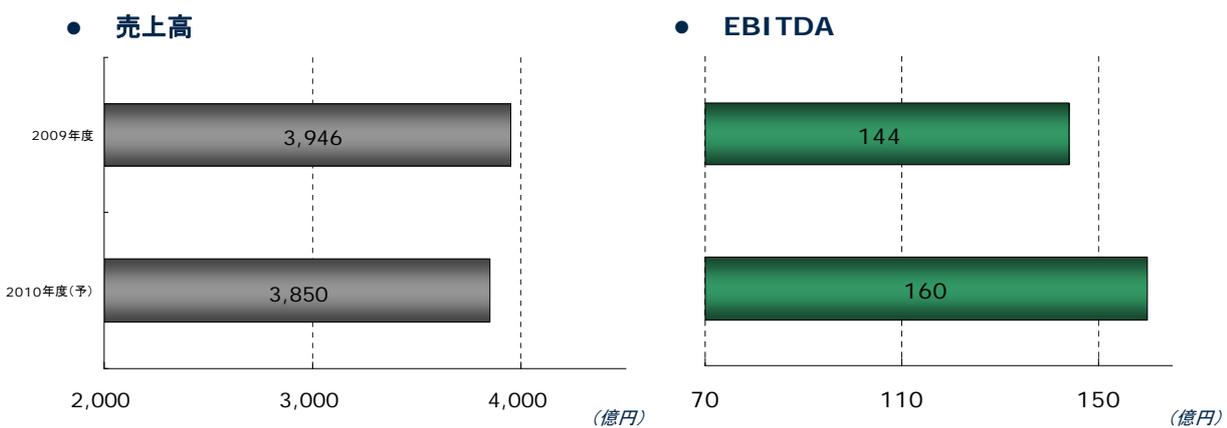
□ 鳥居薬品の売上高: 424億円→442億円(+17億円)

【主な減少要因】

□ 研究開発費増に伴う鳥居薬品の営業利益減: 61億円→12億円(△49億円)

2011年3月期 業績予想_対前年度実績

□ 食品事業 売上高/EBITDA



【主な増加要因】

□ 飲料事業における夏場の猛暑による好影響及び基幹ブランド「ルーツ」等の販売の好調により増収

【主な増加要因】

□ 基幹ブランド「ルーツ」の更なる強化、ステープル(主食)、調味料(酵母エキス等)への戦力集中およびコスト削減

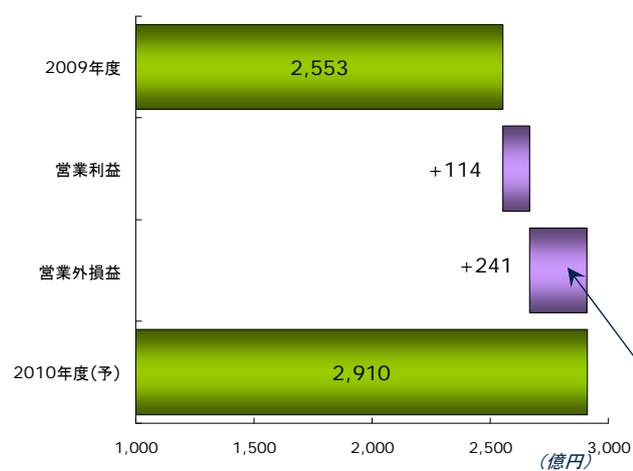
【主な減少要因】

□ テーブルマークグループにおける事業の選択と集中
□ 主として業務用商品の売上高減少

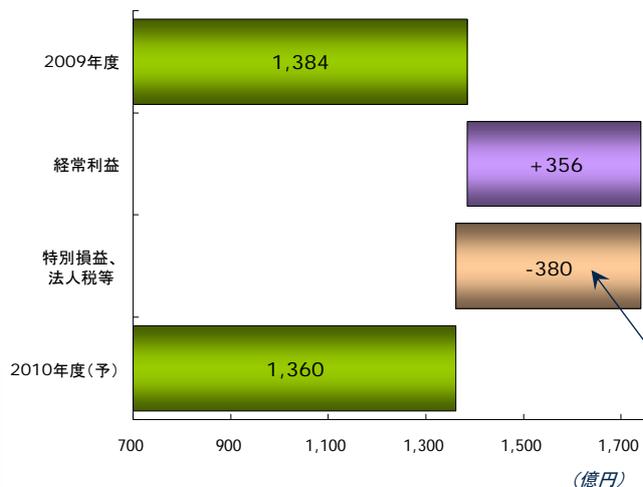
2011年3月期 業績予想_対前年度実績

□ 経常利益

□ 当期純利益



改善要因: 為替差損益の改善
金融損益の改善 等



改善要因: 事業構造強化費用の減
減損損失の減少
悪化要因: 前年の英国競争法制裁金関連負債取崩益計上: 167億円
カナダ政府との和解費用支払: 約130億円
固定資産売却益の減 等

(このスライドは空白です)

1.業績ハイライト

(単位:億円)

	09年12月期	10年12月期	増減
税込売上高	46,518	46,479	△ 39
調整後税抜売上高 ^(注)	14,961	14,876	△ 85
EBITDA	4,257	4,245	△ 11
営業利益	2,525	2,645	120
経常利益	2,156	2,484	328
四半期純利益	1,069	1,195	126

(注): 国内たばこ事業における輸入たばこ、国内免税、中国事業等および海外たばこ事業における物流事業、葉たばこ販売、製造受託等を控除

(参考: のれんの償却影響を除く(主要利益))

(単位:億円)

営業利益	3,269	3,340	70
経常利益	2,900	3,178	278
四半期純利益	1,813	1,889	76

2.売上高の内訳

(単位:億円)

	09年12月期	10年12月期	増減
全社税込売上高 ^(注1)	46,518	46,479	△ 39
国内たばこ事業	23,529	23,102	△ 427
海外たばこ事業 ^(注1)	19,465	19,935	469
調整後全社税抜売上高 ^(注1/注2/注3)	14,961	14,876	△ 85
国内たばこ事業 ^(注2)	4,764	4,641	△ 122
海外たばこ事業 ^{(注1)(注3)}	6,673	6,793	119
医薬事業	343	359	16
食品事業	3,032	2,936	△ 95
飲料事業	1,427	1,493	65
加工食品事業等	1,605	1,443	△ 161
その他の売上高	147	144	△ 2

(注1): 海外たばこ事業は、1-9月期の実績

(注2): 国内たばこ事業の輸入たばこ事業、国内免税、中国事業等を除いた実績

(注3): 海外たばこ事業の物流事業、葉たばこ販売、製造受託等を控除した実績

(参考)

(単位:百万ドル)

海外たばこ事業	7,028	7,591	563
調整後税抜売上高 ^{(注1)(注3)}			

3.葉たばこ評価洗替差損益^(注)

(単位:億円)

	09年12月期	10年12月期	増減
葉たばこ評価洗替差損益	△ 31	-	31

(注): マイナス表示の場合は評価益

4.販売費及び一般管理費の内訳

(単位:億円)

	09年12月期	10年12月期	増減
販売費及び一般管理費	5,981	5,814	△ 167
人件費 ^(注)	1,619	1,573	△ 45
広告宣伝費	147	147	0
販売促進費	1,029	1,012	△ 17
研究開発費	369	374	4
減価償却費	551	458	△ 92
その他	2,264	2,246	△ 17

(注): 人件費=報酬・給料手当+退職給付費用+法定福利費+従業員賞与+賞与引当金繰入額

5.事業セグメント別EBITDA^(注1)

(単位:億円)

	09年12月期 (旧会計基準)	09年12月期 (新会計基準)	10年12月期 (新会計基準)	対前年増減 (新会計基準)
全社EBITDA	4,257	4,257	4,245	△ 11
営業利益	2,525	2,525	2,645	120
減価償却費 ^(注2)	1,731	1,731	1,600	△ 131
国内たばこ事業EBITDA	2,051	1,991	1,851	△ 139
営業利益	1,639	1,593	1,514	△ 78
減価償却費 ^(注2)	411	397	336	△ 61
海外たばこ事業EBITDA ^(注3)	2,029	2,235	2,367	132
営業利益	973	1,179	1,368	189
減価償却費 ^(注2)	1,056	1,056	998	△ 57
医薬事業EBITDA	△ 62	△ 62	△ 64	△ 1
営業利益	△ 91	△ 91	△ 94	△ 2
減価償却費 ^(注2)	29	29	30	1
食品事業EBITDA	140	140	142	1
営業利益	△ 73	△ 73	△ 55	18
減価償却費 ^(注2)	214	214	197	△ 16
その他/全社・消去EBITDA	98	△ 47	△ 51	△ 4
営業利益	77	△ 82	△ 88	△ 6
減価償却費 ^(注2)	21	34	36	1

(参考)

(単位:百万ドル)

海外たばこ事業EBITDA (ロイヤリティ支払前)	2,354	2,646	291
------------------------------	-------	-------	-----

(注1): EBITDA=営業利益+減価償却費^(注2)

(注2): 減価償却費=有形固定資産、無形固定資産、長期前払費用及びのれんの償却費

(注3): 海外たばこ事業は、1-9月期の実績

6.主要投資案件の諸償却費

(単位:百万ドル)

海外たばこ事業	09年9月期	10年9月期	償却年数
旧RJRI及び旧Gallaher関連	680	687	20年

(注): 旧RJRI、旧Gallaher、その他を含む

のれん償却終了は、旧RJRIが'19年4月、旧Gallaherが'27年3月

(単位:億円)

食品事業	09年12月期	10年12月期	償却年数
テーブルマーク(旧加ト吉)関連	80	68	5年

(注): 2009年9月期の実績: テーブルマーク子会社ののれん一括償却を含む

のれん償却終了は、'12年12月

商標権償却費

(単位:億円)

国内たばこ事業	09年12月期	10年12月期	償却年数
旧RJRI関連	28	-	10年

(注): 商標権償却終了は、'09年4月

(単位:百万ドル)

海外たばこ事業	09年9月期	10年9月期	償却年数
旧RJRI及び旧Gallaher関連	179	180	主に20年

(注): 商標権償却終了は、旧RJRIが'19年4月、旧Gallaherが'27年3月

7.資本的支出

(単位:億円)

	09年12月期 (旧会計基準)	09年12月期 (新会計基準)	10年12月期 (新会計基準)	対前年増減 (新会計基準)
資本的支出	925	925	1,045	119
国内たばこ事業	312	286	367	80
海外たばこ事業 ^(注)	410	410	426	15
医薬事業	20	18	23	5
食品事業	177	177	208	30
その他/全社・消去	3	32	20	△ 12

(注): 海外たばこ事業は、1-9月期の実績

8.手元流動性^(注)

(単位:億円)

	10年3月末	10年12月末	増減
手元流動性	1,673	2,530	856

(注): 手元流動性=現金+有価証券+預金

9.有利子負債^(注)

(単位:億円)

	10年3月末	10年12月末	増減
有利子負債	8,743	7,247	△ 1,496

(注): 有利子負債=短期借入金+社債+長期借入金+リース債務

10.主な事業関連計数

【国内たばこ事業】	09年12月期	10年12月期	増減
JT販売数量 ^(注)	1,174	1,068	△ 105
国内総需要	1,808	1,658	△ 149
JT販売数量シェア	65.0%	64.4%	△ 0.6%pt
JT千本当税込売上高	12,691	13,572	881
JT千本当税抜売上高	4,056	4,335	279

(注): JT販売数量には国内免税販売分及び中国事業部分を含まない。当該数量は、2009年12月期28億本、2010年12月期27億本。

【海外たばこ事業】	09年9月期	10年9月期	増減
販売数量 ^(注)	3,256	3,195	△ 61
GFB販売数量	1,824	1,851	27
円/USドルレート	94.96	89.49	6.1%円高
RUB/USドルレート	32.54	30.24	7.6%RUB高
GBP/USドルレート	0.66	0.65	1.4%GBP高
EUR/USドルレート	0.74	0.75	1.2%EUR安

(注): Private Brand、製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み

【医薬事業】	09年12月期	10年12月期	増減
研究開発費(単体)	165	163	△ 1

【食品事業-飲料事業】	10年3月末	10年12月末	増減
自動販売機台数 ^(注)	257,000	267,000	10,000
うちマーキング機	33,000	33,000	0
うちコンビ機	82,000	86,000	4,000

(注): 自動販売機台数には、関係会社が運営する他社機(缶・ブリック等)及びカップ機を含む。「マーキング機」とは当社所有の自動販売機を指し、「コンビ機」とは関係会社所有で他社の製品も取り扱いはながら、JT製品の露出を積極的に行う自動販売機を指す。

2011年3月期 第3四半期 決算データ集(2)

1.2011年3月期連結業績予想(前回見込比較) (単位:億円)

	前回見込	修正見込	増減
税込売上高	59,100	61,200	2,100
EBITDA	4,950	5,230	280
営業利益	2,810	3,080	270
経常利益	2,610	2,910	300
当期純利益	1,150	1,360	210
ROE(株主資本利益率)	6.9%	8.1%	1.2%pt
フリーキャッシュフロー	1,250	2,250	1,000

(参考:のれんの償却影響を除く)

当期純利益	2,050	2,270	220
EPS(円)	21,408.96	23,694.95	2,285.99
1株当たり配当金(円)	5,600	5,600	-
配当性向	26.2%	23.6%	△ 2.6%pt

事業セグメント別業績予想(注4) (単位:億円)

	前回見込	修正見込	増減
税込売上高(注1)	59,100	61,200	2,100
国内たばこ事業	28,480	30,240	1,760
海外たばこ事業	26,140	26,500	360
調整後税抜売上高(注1)(注2)(注3)	19,050	19,580	530
国内たばこ事業(注2)	5,680	6,110	430
海外たばこ事業(注1)(注3)	8,910	8,975	65
医薬事業	455	460	5
食品事業	3,830	3,850	20
その他/売上高	185	185	0
EBITDA(注1)(注5)	4,950	5,230	280
国内たばこ事業	2,190	2,450	260
海外たばこ事業(注1)	2,840	2,880	40
医薬事業	△ 130	△ 150	△ 20
食品事業	150	160	10
その他/全社・消去	△ 90	△ 105	△ 15
営業利益(注1)	2,810	3,080	270
国内たばこ事業	1,720	1,990	270
海外たばこ事業(注1)	1,530	1,550	20
医薬事業	△ 170	△ 190	△ 20
食品事業	△ 125	△ 110	15
その他/全社・消去	△ 140	△ 160	△ 20
減価償却費(注1)(注6)	2,140	2,150	10
国内たばこ事業	470	460	△ 10
海外たばこ事業(注1)	1,310	1,330	20
医薬事業	40	40	0
食品事業	275	270	△ 5
その他/全社・消去	50	55	5

(単位:億円)

	前回見込	修正見込	増減
資本的支出(注1)	1,650	1,590	△ 60
国内たばこ事業	645	590	△ 55
海外たばこ事業(注1)	630	610	△ 20
医薬事業	30	30	0
食品事業	310	320	10
その他/全社・消去	45	40	△ 5

(参考) (単位:百万ドル)

	前回見込	修正見込	増減
海外たばこ事業	10,240	10,223	△ 17
調整後税抜売上高(注1)(注3)			
海外たばこ事業EBITDA(注1)	3,260	3,281	21
(ロイヤリティ支払前)			

(注1):海外たばこ事業は、1-12月期の実績

(注2):国内たばこ事業の輸入たばこ、国内免税、中国等を控除

(注3):海外たばこ事業の物流事業、葉たばこ販売、製造受託等を控除

(注4):セグメント情報等の開示に関する会計基準の変更にとりま、事業セグメント別指標の定義を変更。

国内たばこ事業のEBITDAおよび営業利益はロイヤリティ受取前、

海外たばこ事業のEBITDAおよび営業利益はロイヤリティ支払前の利益を表示。

また共通経費(減価償却費を含む)・資本的支出の各事業部門への配賦方法を変更。

(注5):EBITDA=営業利益+減価償却費(注6)

(注6):減価償却費=有形固定資産、無形固定資産(商標権含む)、長期前払費用及びのれんの償却費

業績予想の主な前提条件

(1)国内たばこ事業 (単位:億本)

	前回見込	修正見込	増減
販売数量	1,255	1,335	80

※販売数量からは国内免税販売分及び中国事業部分を除く。

(2)海外たばこ事業

	前回見込	修正見込	増減
総販売数量※	4,285	4,284	△ 1
GFB販売数量	2,500	2,498	△ 2
円/USドルレート	87.00	87.79	0.9%安
RUB/USドルレート	30.10	30.36	0.9%安
GBP/USドルレート	0.64	0.65	1.5%安
EUR/USドルレート	0.75	0.75	-

億本
億本
円
RUB
GBP
EUR

※Private Brand、製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み

主要投資案件ののれん償却費

海外たばこ事業 (単位:百万ドル)

	前回見込	修正見込	償却年数
旧RJRI及び旧Gallaher関連等	915	915	20年

(注):のれんの償却終了は、旧RJRIが'19年4月、旧Gallaherが'27年3月

食品事業 (単位:億円)

	前回見込	修正見込	償却年数
テーブルマーク(旧加吉)関連	91	91	5年

(注):のれんの償却終了は、'12年12月 2010年3月期はテーブルマーク(旧加吉)子会社の一括償却を含む

主要投資案件の商標権償却費

国内たばこ事業 (単位:億円)

	前回見込	修正見込	償却年数
旧RJRI関連	-	-	10年

(注):'09年4月に償却終了

海外たばこ事業 (単位:百万ドル)

	前回見込	修正見込	償却年数
旧RJRI及び旧Gallaher関連	240	240	主に20年

(注):商標権の償却終了は、旧RJRIが'19年4月、旧Gallaherが'27年3月

2011年3月期 第3四半期 決算データ集(3)

2.2011年3月期連結業績予想(前期実績比較) (単位:億円)

	前期実績	修正見込	増減
税込売上高	61,346	61,200	△ 146
EBITDA	5,267	5,230	△ 37
営業利益	2,965	3,080	114
経常利益	2,553	2,910	356
当期純利益	1,384	1,360	△ 24
ROE(株主資本利益率)	8.6%	8.1%	△ 0.5%pt
フリーキャッシュフロー	2,507	2,250	△ 257

(参考:のれんの償却影響を除く)

当期純利益	2,358	2,270	△ 88
EPS(円)	24,621.42	23,694.95	△ 926.47
1株当たり配当金(円)	5,800	5,600	△ 200
配当性向	23.6%	23.6%	-

事業セグメント別業績予想(注4) (単位:億円)

	前期実績 (旧会計基準)	前期実績 (新会計基準)	修正見込 (新会計基準)	対前年増減 (新会計基準)
税込売上高(注1)	61,346	61,346	61,200	△ 146
国内たばこ事業	30,428	30,428	30,240	△ 188
海外たばこ事業	26,336	26,336	26,500	163
調整後税抜売上高(注1)(注2)(注3)	19,809	19,809	19,580	△ 229
国内たばこ事業(注2)	6,159	6,159	6,110	△ 49
海外たばこ事業(注1)(注3)	9,067	9,067	8,975	△ 92
医薬事業	440	440	460	19
食品事業	3,946	3,946	3,850	△ 96
その他の売上高	195	195	185	△ 10
EBITDA(注1)(注5)	5,267	5,267	5,230	△ 37
国内たばこ事業	2,576	2,512	2,450	△ 62
海外たばこ事業(注1)	2,498	2,776	2,880	103
医薬事業	△ 96	△ 96	△ 150	△ 53
食品事業	144	144	160	15
その他/全社・消去	143	△ 70	△ 105	△ 34
営業利益(注1)	2,965	2,965	3,080	114
国内たばこ事業	2,033	1,987	1,990	2
海外たばこ事業(注1)	1,091	1,369	1,550	180
医薬事業	△ 135	△ 135	△ 190	△ 54
食品事業	△ 136	△ 136	△ 110	26
その他/全社・消去	113	△ 118	△ 160	△ 41
減価償却費(注1)(注6)	2,301	2,301	2,150	△ 151
国内たばこ事業	543	525	460	△ 65
海外たばこ事業(注1)	1,407	1,407	1,330	△ 77
医薬事業	39	39	40	0
食品事業	281	281	270	△ 11
その他/全社・消去	30	48	55	6

(単位:億円)

資本的支出(注1)	1,371	1,371	1,590	218
国内たばこ事業	458	426	590	163
海外たばこ事業(注1)	645	645	610	△ 35
医薬事業	29	26	30	3
食品事業	234	234	320	85
その他/全社・消去	3	38	40	1

(参考) (単位:百万ドル)

	前期実績	修正見込	増減
海外たばこ事業	9,682	10,223	540
調整後税抜売上高(注1)(注3)			
海外たばこ事業EBITDA(注1) (ロイヤリティ支払前)	2,965	3,281	316

(注1):海外たばこ事業は、1-12月期の実績

(注2):国内たばこ事業の輸入たばこ、国内免税、中国等を控除

(注3):海外たばこ事業の物流事業、葉たばこ販売、製造受託等を控除

(注4):セグメント情報等の開示に関する会計基準の変更にもない、事業セグメント別指標の定義を変更。

国内たばこ事業のEBITDAおよび営業利益はロイヤリティ受取前、

海外たばこ事業のEBITDAおよび営業利益はロイヤリティ支払前の利益を表示。

また共通経費(減価償却費を含む)・資本的支出の各事業部門への配賦方法を変更。

(注5):EBITDA=営業利益+減価償却費(注6)

(注6):減価償却費=有形固定資産、無形固定資産(商標権含む)、長期前払費用及びのれんの償却費

業績予想の主な前提条件

(1)国内たばこ事業 (単位:億円)

	前期実績	修正見込	増減
販売数量	1,518	1,335	△ 183

※販売数量からは国内免税販売分及び中国事業部分を除く。

(2)海外たばこ事業

	前期実績	修正見込	増減
総販売数量※	4,349	4,284	△ 65
GFB販売数量	2,434	2,498	65
円/USドルレート	93.65	87.79	6.7%高
RUB/USドルレート	31.77	30.36	4.6%高
GBP/USドルレート	0.65	0.65	0.2%高
EUR/USドルレート	0.73	0.75	3.0%安

億本
億本
円
RUB
GBP
EUR

※Private Brand、製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み

主要投資案件ののれん償却費

海外たばこ事業 (単位:百万ドル)

	前期実績	修正見込	償却年数
旧RJRI及び旧Gallaher関連	904	915	20年

(注):のれんの償却終了は、旧RJRIが'19年4月、旧Gallaherが'27年3月

食品事業 (単位:億円)

	前期実績	修正見込	償却年数
テールマーク(旧加吉)関連	104	91	5年

(注):のれんの償却終了は、'12年12月 2010年3月期はテールマーク(旧加吉)子会社の一括償却を含む

主要投資案件の商標権償却費

国内たばこ事業 (単位:億円)

	前期実績	修正見込	償却年数
旧RJRI関連	29	-	10年

(注):'09年4月に償却終了

海外たばこ事業 (単位:百万ドル)

	前期実績	修正見込	償却年数
旧RJRI及び旧Gallaher関連	242	240	主に20年

(注):商標権の償却終了は、旧RJRIが'19年4月、旧Gallaherが'27年3月

国内JT製品データ集

(注)：表中の数値には中国、香港、マカオ市場および国内免税市場販売分は含まれておりません。

国内たばこ事業関係係数

1. 四半期別販売数量

(単位：億本)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2008年度	420	408	407	362	1,599
2009年度	390	395	388	343	1,518
2010年度	359	506	203		

2. 四半期別定価代金

(単位：億円)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2008年度	6,269	6,086	6,073	5,399	23,828
2009年度	5,817	5,891	5,785	5,123	22,617
2010年度	5,354	7,531	4,133		

(注)：販売定価代金 = 販売数量 × 小売定価

3. 四半期別千本当売上高

(単位：円)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2008年度	12,699	12,693	12,699	12,699	12,698
2009年度	12,693	12,689	12,691	12,696	12,692
2010年度	12,686	12,686	17,349		

(注)：本項目では、販売定価代金から販売店マージン、消費税を差し引いたものを売上高としております。
千本当売上高 = (販売定価代金 - 販売店マージン - 消費税) / 販売数量 × 1,000

4. 四半期別千本当税売上高

(単位：円)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2008年度	4,056	4,054	4,060	4,058	4,057
2009年度	4,056	4,055	4,057	4,058	4,056
2010年度	4,054	4,052	5,539		

(注)：本項目では、販売定価代金から販売店マージン、消費税を差し引いたものを売上高としております。
千本当税売上高 = { 販売定価代金 - 販売店マージン - 消費税 - たばこ税(国税) - たばこ税(地方税) - たばこ特別税(国税) } / 販売数量 × 1,000

5. 四半期別シェア

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2008年度	64.9	64.9	65.2	65.2	65.1
2009年度	65.1	64.8	65.0	64.8	64.9
2010年度	64.5	65.1	62.7		

伸張セグメントシェア

1. 四半期別タール1mgセグメントシェア

①JT タール1mg製品市場シェア (単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2008年度	14.5	14.5	14.9	14.9	14.7
2009年度	14.9	14.8	15.2	15.6	15.1
2010年度	15.7	15.2	15.2		

②1mg市場シェア (単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2008年度	23.2	23.0	23.5	23.7	23.3
2009年度	23.9	23.8	24.1	24.5	24.1
2010年度	24.7	23.7	24.0		

③セグメント内シェア (単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2008年度	62.4	63.0	63.3	62.8	62.9
2009年度	62.3	62.2	63.0	63.8	62.8
2010年度	63.6	64.1	63.3		

2. 四半期別メンソールセグメントシェア

①JT メンソール製品市場シェア (単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2008年度	7.5	7.4	7.8	7.7	7.6
2009年度	7.6	7.9	8.0	8.5	8.0
2010年度	8.4	8.0	8.7		

②メンソール市場シェア (単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2008年度	21.9	22.1	22.2	22.4	22.1
2009年度	22.6	23.2	23.0	23.5	23.1
2010年度	23.9	23.3	25.7		

③セグメント内シェア (単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2008年度	34.3	33.5	35.0	34.5	34.3
2009年度	33.8	34.2	34.7	36.2	34.7
2010年度	35.2	34.1	33.8		

3. 四半期別440円以上製品セグメントシェア

①JT 440円以上製品市場シェア (単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2008年度	5.2	5.0	5.4	5.2	5.2
2009年度	5.1	5.0	5.2	5.2	5.1
2010年度	5.1	4.7	17.4		

②440円以上市場シェア (単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2008年度	23.9	24.0	24.6	24.5	24.2
2009年度	23.9	23.8	24.1	24.8	24.6
2010年度	24.7	24.4	38.3		

③セグメント内シェア (単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2008年度	21.7	20.7	22.2	21.4	21.5
2009年度	21.3	21.0	21.4	21.1	20.7
2010年度	20.7	19.5	45.5		

(注)：2010年10月以前は320円以上

4. 四半期別D-spec製品シェア

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2008年度	5.10	4.82	5.04	4.85	4.96
2009年度	4.76	4.66	5.25	5.31	5.21
2010年度	10.91	10.47	10.44		

* ビアニッソモ及びプレミアは2006年3月、ベヴェル・フレアは2006年12月、キャスターは2010年4月よりD-spec製品として販売しております。

医薬事業 臨床開発品目一覧（2011年2月7日現在）

開発名	開発段階	主な適応症	作用機序	詳細	権利
JTT-705 (経口)	国内：Phase2	脂質異常症	CETP（コレステリルエステル転送蛋白）モジュレート	HDL（高密度リポ蛋白：善玉コレステロール）中のコレステロールをLDL（低密度リポ蛋白：悪玉コレステロール）に転送するCETP活性を調節することにより、血中HDLを増加させる	スイスのロシュ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出（同社ではPhase3）
JTT-130 (経口)	国内：Phase2 海外：Phase2	脂質異常症	MTP（ミクロソームトリグリセリド転送蛋白）阻害	MTPを阻害することにより、コレステロール及びトリグリセリドの吸収を抑制し、脂質値を低下させる	
JTK-303 (経口)	国内：Phase1	HIV感染症	インテグラーゼ阻害	HIV（ヒト免疫不全ウイルス）の増殖に関わる酵素であるインテグラーゼの働きを阻害する	米国ギリアド・サイエンシズ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出（同社ではPhase3）
JTT-302 (経口)	海外：Phase2	脂質異常症	CETP（コレステリルエステル転送蛋白）阻害	HDL（高密度リポ蛋白：善玉コレステロール）中のコレステロールをLDL（低密度リポ蛋白：悪玉コレステロール）に転送するCETPを阻害することにより、血中HDLを増加させる	
JTT-305 (経口)	国内：Phase2	骨粗鬆症	CaSR（カルシウム感知受容体）拮抗	副甲状腺細胞のCaSRに作用し、血中Caの感知を阻害することで副甲状腺ホルモンの分泌を促し、骨の代謝回転を高めることにより骨形成を促進する	米国メルク社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出
JTS-653 (経口)	国内：Phase2	鎮痛、過活動膀胱	TRPV1（パノロイド受容体1）阻害	知覚神経に存在するTRPV1の働きを阻害することにより症状を改善する	
JTK-656 (経口)	海外：Phase1	HIV感染症	インテグラーゼ阻害	HIV（ヒト免疫不全ウイルス）の増殖に関わる酵素であるインテグラーゼの働きを阻害する	
JTT-751 (経口)	国内：Phase2	高リン血症	リン吸着剤	消化管内で食物から遊離するリンを吸着することで、リンの体内吸収を抑える	米国ケリックス・バイオファーマシューティカルズ社より日本における開発・商業化権を導出（鳥居薬品と共同開発）
JTK-853 (経口)	海外：Phase1	C型肝炎	HCV RNA ポリメラーゼ阻害	HCVの増殖に関わる酵素であるポリメラーゼを阻害する	
JTT-851 (経口)	国内：Phase1	2型糖尿病	GPR40（G蛋白質共役型受容体）作動	グルコース依存的にインスリン分泌を促進し、高血糖を是正する	

*開発段階の表記は投薬開始を基準とする

前回（2010年10月28日）公表時からの変更点：なし

【付記事項】

英国グラクソ・スミスクライン社は、当社が同社へ導出したMEK阻害剤で、Phase3（メラノーマ）を開始したことを2011年1月に公表。